

腹腔鏡下で婦人科の手術を受けられる (5日間)(当日入院)























様へ

患者用クリニカルパス P1/2

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日		月 日	
経過	当日術前 (入院日)		当日術後	
目標	○手術に対する不安を伝えることができ、不安が最小限となる		○異常な出血がない ○排ガス、排便がある ○創部痛(下腹部痛)が緩和し、苦痛が最小限となる	
検査	・身長、体重測定		  ・採血 ・採尿	
食事	 絶飲食		昼より全粥食開始  	
処置・観察	<ul style="list-style-type: none"> ・リストバンドを装着します(退院日まで) ・腔洗浄します ・必要時、臍処置、除毛、浣腸します  時間になれば、看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物、装着物があります <ul style="list-style-type: none"> ・酸素マスク → 取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → 点滴終了後、抜去します ・尿道カテーテル → 抜去し排尿を確認します 	 創部を観察、必要時処置を行います	
 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
内服・点滴	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください  以下の点滴を行います ・持続点滴	 以下の点滴を行います ・抗菌薬		
行動・リハビリ	 以下の手術準備をします <ul style="list-style-type: none"> ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し  制限ありません	 翌朝までベッド上安静です	 午前中 全身清拭し、手術着からパジャマに着替えます  医師の許可で座位になれます  午前より歩行を開始します	
説明	 医師・麻酔科医より(外来または入院時) <ul style="list-style-type: none"> ・治療計画について ・手術について ・麻酔について  病棟・手術室看護師より <ul style="list-style-type: none"> ・入院生活について(患者用パス使用) ・手術について ・手術物品確認(テープ式オムツ・ナプキン)  薬剤師より <ul style="list-style-type: none"> ・持参薬確認 ・使用薬剤について 	 医師より <ul style="list-style-type: none"> ・手術結果について  看護師より <ul style="list-style-type: none"> ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について 		

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日
経過	術後 2 日目		術後 3 日目
目標	○異常な出血がない ○排ガス、排便がある ○創部痛（下腹部痛）が緩和し、苦痛が最小限となる		○退院後の生活上の注意点が理解できる
検査			
食事	朝より常食		退院日は朝食のみ
			
処置・観察	 創部を観察、必要時処置を行います		 診察があります
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります		
内服・点滴			
行動・リハビリ	 創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します (週 3 回、病棟毎で日が異なります)		
	 制限はありません		 朝食後退院です
説明	 医師より ・退院後の治療計画、療養上の留意点について  看護師より ・退院後の療養生活について (退院療養計画をお渡しします)		

